

# コロナ禍 賃上げ続出

## 抑制策破綻 生活防衛には遠く

### 大手春闘回答

自動車、電機、鉄鋼などの大企業は16日、労働組合の春闘要求に対して一斉に

回答を出しました。ケア労働者をはじめとする労働者が賃上げを誓わざるをえないもので、コロナ前を上回

る賃上げ・賃金改善が相次ぎました。長年にわたる賃金抑制の破綻を示しています。しかし、コロナ禍で生活を守り、主要国で唯一実

2年分の賃上げを一括で行う鉄鋼では、日本製鉄が22年度に3000円、23年度に2000円を回答。鉄鋼大手の20、21両年度はベアゼロでした。三菱重工業、IHIはベア1500円と

脱するにはほど遠く、巨額の内部留保の還元などが求められます。

IHIはベア1500円と脱するにはほど遠く、巨額の内部留保を466兆円に

自動車では、日産が組合の要求通り総額として月8000円の満額回答。トヨタ自動車もすでに満額回答

大企業は長年の賃金抑制で内部留保を466兆円に膨張させ、コロナ禍で弱く

を明らかにしています。ただし両者ともベアスナップ(ベア一律賃上げ)の有無は不明で、トヨタは職務ご

もろい経済の姿を露呈。労働組合は「コロナ禍こそ賃上げ・底上げが必要」「賃金の上がない国から脱するべきだ」と一致して求め

は不明で、トヨタは職務ごとに格差を設けています。

組などではこれから春闘が本格化します。

### 主要企業の22年春闘回答状況

【自動車】	ベア月額(円)
トヨタ自動車	前年と同等水準(9,200)※
日産自動車	8,000(7,000)※
【電機】	
日立製作所	3,000(1,200)※
パナソニック	1,500(1,000)
富士通	1,500(1,000)
NEC	3,000(1,000)※
東芝	3,000(1,000)※
【鉄鋼・造船重機】	
日本製鉄	3,000( 0)
三菱重工業	1,500( 0)
IHI	1,500( 0)

(注)※は満額回答。カッコ内は前年実績。トヨタはベアの有無は明示していない。日産は賃上げ総額。パナソニックは年金拠出額の引き上げを含む

とに格差を設けています。

本格化します。

電機では日立製作所と東芝、NECが3000円の満額回答。パナソニック、三菱電機、富士通は1500円でいずれも前年実績(1000円)を上回りました。2年分の賃上げを一括で